



第十三回公演

せきのみや子ども歌舞伎公演



日時 平成27年

12/6 (日)

全席自由
午後1時開場
午後2時開演



場所 兵庫県養父市関宮
関宮公民館ノビアホール

出演団体 せきのみや子ども歌舞伎クラブ

演目 / 葛畑三番叟・口上・
よるこびありやふくみつるまつりちようちん
歌舞伎「喜有福満祭提灯」

監修・振付・指導 / 水口 一夫
義太夫 / 竹本 朋太夫
三味線 / 豊澤 清次郎

入場料 高校生以上 1,000円
(前売り)
中学生以下 無料 (但し、入場整理券が必要です)
(ともに当日は500円増し)

- チケット販売 / [一般販売] 10月1日(木)～
[伝承友の会] 9月25日(金)～(関宮公民館のみ)
- プレイガイド / 関宮公民館・八鹿公民館・養父公民館
大屋公民館
- 主催 / 葛畑農村歌舞伎伝承会
- 共催 / 養父市・養父市教育委員会
- 後援・協力 / 松竹株式会社・たつた舞台株式会社・
松竹衣裳株式会社・株式会社八木源かづら

access map



問い合わせ先 / 養父市立関宮公民館 〒667-1105 兵庫県養父市関宮637番地
TEL 079-667-2331 FAX 079-667-3213

せきのみや子ども歌舞伎公演

◆葛畑三番叟

葛畑三番叟は、雪に埋もれながら春を待ち、田畑で種をまき、慈しみながら万物を育て収穫する喜びと、葛畑の自然の移ろいを表現しています。葛畑は豪雪地帯に位置する地域で、周辺にはスキー場も有しているため、途中雪が降り喜んで舞う場面があります。神事としての三番叟から、美しく華やかにと舞踊の流れを取り込み、子どもらしく振り付けされています。

〔配役〕 上田 真綾 関宮小 四年
中村 優月 関宮小 四年
森本 花羽 関宮小 四年

県指定文化財
「葛畑の農村歌舞伎衣装」

◆口上

森本 花羽(関宮小 四年)

◆歌舞伎「喜有福満祭提灯」

館 直志 作「お祭り提灯」より 水口 三夫 脚色 振付

大阪高津神社の春祭り。真面目で商熱心な提灯屋徳兵衛は、女房のおすみらと店を切り盛りしているが、大恩ある本家の若旦那から、二十両の金を用立ててほしいとの手紙が届き、金の算段に悩む。

そんな時、祭りの世話役の勘太と佐助が富くじへの協力のお願いに店に訪れたあと、財布を落としていく。徳兵衛は中身の二十五両を借りようかと悩むが、やはり返そうと店の提灯の中に先ず財布を隠す。

その様子を見ていた金貸しの山路屋幸兵衛は、ケチで欲深い男。事情を知らない妹お近に、高値で提灯を売ってくれと持ちかける。

幸兵衛が買った財布の入った提灯を取り戻そうと、徳兵衛、勘太と佐助、それに女房おすみ、妹お近も加わって、追いかけてく……、果たして財布の行方は……。

松竹新喜劇で活躍した藤山寛美さんの当たり役、丁稚の三太郎で有名な原作を、歌舞伎に仕立てて演じます。

〔配役〕 提灯屋 (徳兵衛) 上田 真綾 (関宮小 四年)

女房 (おすみ) 中村 優月 (関宮小 四年)

妹 (お近) 岡田 梨愛 (村岡小 四年)

丁稚 (三太郎) 西谷 悠希 (兎塚小 三年)

祭の世話役(勘太) 藤原 悠雅 (救田小 五年)

同 (佐助) 安田 涼一 (豊岡小 三年)

上総屋女房(お 寛) 森本 帆乃花 (関宮小 六年)

山路屋 (幸兵衛) 矢野 宗一郎 (関宮小 六年)

葛畑農村歌舞伎伝承会 友の会 「入会のご案内」

〔会 費〕 1口1,000円(年会費)〈口数1口〜〉

〔特 典〕 会報誌・チケット先行販売・見学会・過去の上演映像販売 ほか

〔問合せ先〕 養父市立関宮公民館(伝承会事務局)
〒667-1105 兵庫県養父市関宮637
TEL: 079-667-2331
FAX: 079-667-3213
HP: <http://www.kazurahataza.com/>

兵庫・但馬の屋根、水ノ山の深い谷あいには葛畑(かずらはた)の舞台、芝居堂があり、昭和43年に国の重要有形民俗文化財に指定されています。

昭和の初めごろまで盛んだった葛畑の農村歌舞伎は一時衰退します。

しかし、地元住民の「もう一度歌舞伎を」という熱い思いが県や関宮町(現・養父市)や関係者を動かし、37年ぶりの復活公演を、平成15年に果たしたのです。

また、次代を担う子どもたちへ伝承するため、同年から子どもたちによる農村歌舞伎公演と、講座を毎年行っています。

このような活動を通して、葛畑における農村歌舞伎の伝統を守っております。

葛畑農村歌舞伎を後世に残していくことに賛同していただける人々のお力をお借りし伝承していきますので、是非とも友の会にご入会下さい。



国指定重要有形民俗文化財「葛畑の舞台(芝居堂)」